

# 特別企画

## 人材問題を解決、サポート企業のいま

労働集約型産業とも称される外食業。それだけに、マネジメント力とともにクローズアップされるのが「人材力」である。しかしながら同産業は、ここに来て時給高騰によるパート・アルバイトの人材確保や雇用条件の確立などさまざまな課題に直面している。ここでは、どのような企業が人材確保や定着などに有用なサービスを展開しているかを紹介。人材確保サービス企業のいまに迫る。

### アルバイトの確保に効果を発揮する給与日払い代行システム「振りソク」

人材問題を解決、サポート企業のいま

マスタースタッフ・グループ(株)  
東京都港区三田4-1-27 F.B.H.三田ビル  
〒105-5442 7184

多くの外食業の店舗はパート・アルバイト(PA)を戦力として店舗を運営している。彼らがいなければ店をオペレーションすることは難しい。しかし、そのPAが集まりにくくなったと言われて久しい。時給を上げるなどしても、人が集まらないという声を各所で耳にする。

この状況を打開するためにマスタースタッフ・グループ(株)（本社東京・佐藤修社長）が提案し、話題を呼んでいるのが日払いシステム「振りソク」である。これは給与の日払いを行なうためのシステムを同社が提供し、店舗の代わりに給与計算を行ない、PAに対して給与を「立て替え払い」するというものだ。店舗（企業）は通常の月払いの給与支給のときに同社に立て替えてもらった分の給与と、振りソクシステムの手数料を支払うという仕

組みである。税計算など必要なことはすべて同社が代行する。PAはあくまでそれぞれの店舗と雇用契約を結ぶため、派遣とはまったく異なる。マスタースタッフ・グループはあくまで黒子に徹する。

同社が振りソクをスタートしたのは2006年の4月。もともと自社でコールセンターを運営しており、センターのPAを創業当時から、競合他社の5分の1以下のコストで日払いで採用している。定着率が高いため、求人でも苦勞している他業界にそのシステムを提供できないかと考えたのが振りソク開発のきっかけだったという。

事業開始からほぼ1年で、振りソクの導入企業は約50社、店舗数は約400店舗にまで増加した。システムの認知度が高まるにつれて導入企

ている。こうした理由で、月払いではなく日払いで働きたいというアルバイト希望者は多い。

#### 時給を上げなくても応募者が増加

日払いを導入すれば彼らを惹きつけることができる。PAの応募者が飛躍的に伸び、欲しい人材が確保できるようなったなど導入した店舗の多くで振りソクは大きな効果を出しているという。実際に導入している企業で統計をとったところ、定着率の面でも月払いでも日払いでも全く変わらないという結果が出ている。日払いで入って、長く働きたいと考えて、数ヵ月後に月払いに変えるケースもあるが、派遣ではないので、そういった要望にも臨機応変に対応

ができる。振りソクで特筆すべきは、時給を上げなくても人が集まるということだ。それどころか月払いとの差を付けるために日払いの時給を若干下げて募集するケースも多いが、それでも応募が増えている。時給額ではなく、「日払い」というキーワードが応募の決め手になっているのである。募集広告の効果も高まるので、結果的に求人費の圧縮につながる。振りソクは求人でも苦勞している店舗にとって、ますます検討する価値のあるサービスである。

なお地方からの依頼が多かったことを受け、この春より地方にも拠点をづくり本格的にサービスを展開している。

#### ●「振りソク」のスキーム



業は順調に増えており、問合せも非常に多い。導入企業の8割が外食企業・店舗である。外食ではすでに(株)三光マーケティングフーズ、(株)ホットランド、(株)ワンダーテール、(株)西洋フード・コンパスクグループ等が振りソクを導入している。

#### 若年層の「日払い」ニーズに対応する

振りソクで同社が提案しているのは給与の「日払い」である。日払いというと、いわゆる日雇いをイメージする向きもあるが、決してそうではない。給与の支払い方法が日払いであるだけで、それ以外は一般的な月払いとまったく同じ、と考えればいい。PAに対する給与の支払い方法に幅を持たせ、応募の際の敷居を低くするということだ。

若年層の意識の変化から、長期のアルバイトでも、いつお金が必要になるかわからないので、月払いではなく、すぐにもらえる日払いのほうを選びたいという労働者が増えていく。派遣業界ではすでに日払いが当たり前になっており、数百万人が登録しているが、一方で職場が転々と変わる派遣を毛嫌いする人も増えてき



導入企業の8割が外食。(株)ホットランドも導入している



時給を上げなくても応募者増の効果が出ている